

# レジメンと主な副作用の指導内容

## ★治療スケジュール(FOLFOXIRI+BV)

下記の治療を2週毎に繰り返します

時間	投与するお薬			
30分	プロイメンド	150	mg	
	生理食塩液	100	mL	
15分	デキサメタゾン	9.9	mg	
	アロキシバッグ	0.75	mg/袋	
※ 90分	<b>アバステン</b>	<b>【5mg/kg】</b>	<b>mg</b>	
	生理食塩液	100	mL	
1時間	<b>カンプト</b>	<b>【165mg/m<sup>2</sup>】</b>	<b>mg</b>	
	5%ブドウ糖液	250	mL	
2時間	アイソボリン	<b>【200mg/m<sup>2</sup>】</b>	mg	<b>エルプラット</b>
	5%ブドウ糖液	250	mL	<b>【85mg/m<sup>2</sup>】</b> mg
				250 mL
48時間	<b>フルオロウラシル</b> (生理食塩液)		<b>【3200mg/m<sup>2</sup>】</b>	<b>mg</b>
				
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffffcc;"> <p>〈飲み薬〉 <b>デカドロン錠</b> 朝・昼 1回 錠ずつ / ~ /</p> </div>			

※2回目以降、投与時間は60分→30分と、最短で30分まで短縮されます。

## ★治療に使うお薬について

お薬の名前	お薬の作用
プロイメンド	吐き気を抑えるお薬です。
アロキシ	吐き気を抑えるお薬です。
デキサメタゾン	アレルギー症状や吐き気を抑えるお薬です。
<b>アバステン</b>	<b>抗腫瘍薬です。</b>
<b>カンプト</b>	<b>抗腫瘍薬です。</b>
アイソボリン	フルオロウラシルの効果を高めるお薬です。
<b>エルプラット</b>	<b>抗腫瘍薬です。</b>
<b>フルオロウラシル</b>	<b>抗腫瘍薬です。</b>

## ★注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。

※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。

※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

## ★副作用

### ・アレルギー反応（エルプラット点滴中～）

さむけ、頭痛、かゆみ、咳、息苦しさ、喉のイガイガなどの症状が現れた場合は、すぐにお知らせください。

### ・注射時反応（アバステン点滴中～）

点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。

また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。

特に初回に多いと言われています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

### ・吐き気(当日～)

### ・味覚異常、臭覚過敏（当日～）

### ・便秘（当日～）

### ・末梢神経症状

手、足、口、喉のまわりにしびれや痛みが現れる場合があります。

喉が締め付けられるような感覚が現れることもあります。

これらの症状は冷たいものを触ったり飲食したりすることで出やすくなります。

また、治療を継続することで、慢性的なしびれも出現することもあります。

### ・下痢

カンプト点滴中、下痢や腹痛を認めることがあります。症状を抑えるお薬があるので申し出てください。

自宅にて、腹痛や1日4回以上の下痢、水様便などが継続する場合はお知らせください。

下痢になる原因物質は糞便とともに排泄されるため、点滴後数日は毎日排便があるように調節してください。

また、点滴をした日から4日間は乳酸菌食品の摂取を避けてください。

### ・口内炎（1～2週間ごろ）

普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。

### ・出血傾向

鼻血や歯肉・膣などから出血することがあります。

吐血や血便、咯血があらわれた場合はすぐに受診してください。

### ・消化管穿孔

強い腹痛(吐き気、嘔吐、便秘を伴うことがあります)があらわれたときは、すぐに受診してください。

### ・血栓症

意識がもうろうとする、まひが出る、ろれつが回らない、めまいがする、胸が痛む、息切れがするなどの症状がある場合はすぐに受診してください。

### ・高血圧

定期的に測定してください。頭痛、頭重感、耳鳴り、めまいなどの症状がある場合はすぐに受診してください。

### ・たんばく尿

適宜、尿検査を行います。

### ・骨髄抑制（1～2週間）

白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。

→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。

→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、

血小板減少時は血が止まりにくくなります。